

寒地土木研究所の 発足について



寒地土木研究所
総括研究監

高橋 渡

1. 寒地土木研究所発足にあたって

平成18年4月1日より、北海道開発土木研究所と土木研究所が統合し、(新)土木研究所が発足しました。

(新)土木研究所は、寒地土木研究所(前・北海道開発土木研究所)とつくば中央研究所(前・土木研究所)から構成されます。

寒地土木研究所は、これまでどおり北海道開発行政に関連した調査・試験・研究開発を行うとともに、積雪寒冷地をはじめとした他の地域にも成果の普及を図ります。

統合にあたっては、研究者の知見の相互交流や研究成果の共有によって、研究活動の効率化、研究成果の質的向上を図ります。

2. 新しい組織について

社会・行政ニーズに対応した研究への重点的かつ横断的対応を図るため、新たにユニットを設置。研究グループ・研究チームの枠にとらわれずに、特定のテーマに関する研究開発を効果的・効率的に行います。道路関連では、地域景観ユニットを紹介します。

●地域景観ユニット

北海道では、自家用車やレンタカーで周遊するドライブ旅行の人气が高まっています。また近年は、海外からの旅行者も増加しており、美しく快適な沿道環境の創出を通じて地域振興を図る「シーニックバイウェイ北海道」が展開されるなど、景観・観光・情報に関する研究のニーズが高まっています。このような背景から、新たに地域景観ユニットを設置し、研究体制の充実を図りました。

1. 研究テーマの重点化

研究テーマについては、重点プロジェクト研究をはじめとし、積雪寒冷地に関連するテーマに重点化し、研究開発を推進します。

2. 研究成果の戦略的普及

つくば中央研究所と連携した技術推進本部を組織。効果的な研究成果の普及活動を展開します。

3. 研究部門のコラボレーション

社会・行政ニーズに対応した研究への重点的かつ横断的対応を図るため、新たにユニットを設置。研究グループ・研究チームの枠にとらわれずに、特定のテーマに関する研究開発を効果的・効率的に行います。

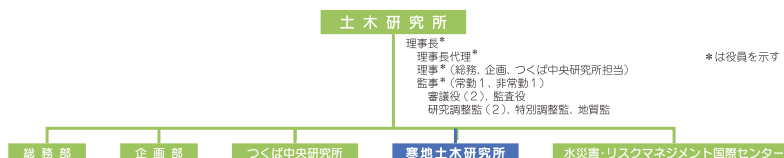
4. 組織のリニューアル

組織の変更に伴い、部→グループ、室→チームに名称変更。部長→グループ長、室長→首席研究員、副室長→総括主任研究員に役職が変更になりました。

5. 非公務員化

役職員の非公務員化に伴い、共同研究など研究の実施にあたって他機関との連携をさらに強化します。

新しい寒地土木研究所の特徴



寒地土木研究所

所長(理事長代理)	
審議役	
監査役	
研究調整監	企画室
総括研究監	技術推進本部
管理部長	管理課
寒地基礎技術研究グループ(旧・構造部等)	寒地構造チーム(旧・構造研究室) 耐寒材料チーム(旧・材料研究室) 寒地地盤チーム(旧・土質基礎研究室) 防災地質チーム(旧・地質研究室)
寒地水圏研究グループ(旧・環境水工部)	寒地河川チーム(旧・河川研究室) 水環境保全チーム(旧・環境研究室) 寒冷沿岸域チーム(旧・港湾研究室) 水産土木チーム(旧・水産土木研究室)
寒地道路研究グループ(旧・道路部)	寒地交通チーム(旧・交通研究室) 雪氷チーム(旧・防災雪氷研究室) 寒地道路保全チーム(旧・維持管理研究室)
寒地農業基礎研究グループ(旧・農業開発部)	資源保全チーム(旧・土壌保全研究室) 水利基礎チーム(旧・農業土木研究室)
特別研究監	水素地域利用ユニット
ユニット	地域景観ユニット 流域負荷抑制ユニット

新組織の構成

●技術推進本部

土木研究所は、自主的な運営の基での効率的・効果的な研究開発の実施とともに、社会へ研究成果を還元していくため、より積極的に、得られた研究成果の普及促進や技術指導を行うことが求められています。技術推進本部はつくば中央研究所と連携し、独立行政法人化のこの趣旨を踏まえ、研究成果の社会への還元促進と研究所全体としてのより機動的な研究開発を行います。

1. 産学官の連携

2. 新技術をはじめとする研究成果の普及

3. 特許等知的財産権の効率的な取得・活用

4. 国際標準対応など研究情報の収集

3. 新しい研究テーマの紹介

寒地土木研究所が行う研究テーマは、重点プロジェクト研究、戦略的研究及び一般研究から構成されます。

「重点プロジェクト研究」とは、社会的な要請が高く、中期目標の期間*内で明確な成果が見込まれている課題について、重点的かつ集中的に実施する研究です。これらの研究で得られた成果については、北海道開発局などの事業に的確に反映されるよう努めます。

土木研究所では、17課題の「重点プロジェクト研究」を行っています。そのうち、寒地土木研究所では7課題、つくば中央研究所では10課題の研究を行っており、つくば中央研究所で行っている2課題については、寒地土木研究所でその一部を担当しています。

その他、重点プロジェクト研究には入りませんが、必要性が特に高く、戦略的に実施すべき研究として行う「戦略研究」と、「一般研究」があります。

ここでは、道路関連の3つの「重点プロジェクト研究」について紹介します。

※中期目標の期間とは、平成18年度から平成22年度までの5ヵ年間。

●大規模岩盤斜面崩壊等に対応する道路防災水準向上に関する研究（寒地基礎技術研究グループ）

北海道では、道路沿いの岩盤斜面において大規模な崩壊、落石が多く発生しています。どのような斜面で崩壊が発生するのかを明らかにし、同時に落石等に対応する道路防災工の合理的・経済的設計手法を開発します。



●冬期道路の安全性・効率性向上に関する研究（寒地道路研究グループ）

北海道においては、路面凍結対策、吹雪対策は重要な課題となっています。冬期の安全・快適な道路交通を確保するため、冬期路面管理の適正化、積雪寒冷地における交通事故対策や吹雪対策施設の効率的整備に資する技術開発を行います。



●土木施設の寒地耐久性に関する研究（寒地基礎技術研究グループ・寒地道路研究グループ）

北海道では、特有の泥炭性軟弱地盤、冬期の多量な積雪、低温が土木施設の構築と維持管理に大きな影響を与えます。雪と寒さに強い土木施設を建設し、それらを長く維持していくための研究を行います。



新たに設置された地域景観ユニットでは、北海道における美しく快適な沿道環境の創出に関する研究として、走行環境情報収集車を活用した沿道景観調査、沿道景観の客観的評価手法の開発、ツーリング環境の現状分析や課題抽出、道路施設による沿道景観への影響や改善方策の検討などを行います。また、ドライブ観光を支援する情報提供に関する研究も行います。



4. おわりに

新しく発足した寒地土木研究所は、これまで以上に積雪寒冷地に関連するテーマについて重点的に研究を推進するとともに、これらの成果を北海道以外にも活用出来るよう、その研究成果の普及を図りたいと考えています。これからも研究所員が一丸となって、使える研究成果の創出を目標に、効率的かつ効果的な研究を進めて参りたいと思いますのでよろしくお願い致します。

お問い合わせ先：

 独立行政法人 土木研究所
寒地土木研究所

〒062-8602 札幌市豊平区平岸1条3丁目1番34号
TEL：011-841-1636 FAX：011-824-1226
URL <http://www.ceri.go.jp> e-mail：info@ceri.go.jp